

平成28年度 事業報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

社会福祉法人すこう福祉会
ワークハウスわらしべ
わらしべ相談支援事業所

	期初計画	期末報告
1. 運営方針	安定した施設運営	新規利用者が8名、退所者が5名と利用者の出入りが多い年となったが1日の平均利用者数が30名となった 冬期間は自宅に近い事業所に通う、また休む利用者があり、冬期間の利用者減がある B型アセスメントの受け入れが9名となり地域でのニーズを支えている 3月末の利用者登録数 54名
2. 職員配置	職員	正規職員 1月末に1名退職 パート職員 12月、1月に1名ずつ入職、 3月末に2名退職
3. 利用者定員	就労移行支援事業 定員8名	5月より1名増、2月より2名増 登録2名 2名共に就労の後、再利用となっている
	就労継続支援事業B型 定員15名	5月より1名増、2月に1名退所 登録者23名
	生活介護事業 定員16名	4月より3名増、5月より1名増、10月より1名増 8月末に長期入院者2名と退所手続きを行った 登録者30名
	居宅介護事業	定期的な入浴支援を2名に行っていたが、1名は入居先が決まり7月末で利用終了した
4. 利用日時	月曜～金曜 午前9時～午後4時	変更なし
	土日、祭日は原則休業 イベント、販売などに応じて営業	販売19回、参加イベント3回 各種販売会へ積極的に参加するように計画
5. 利用料	障害者総合支援法に基づき1割負担	制度に変更なし
	所得に応じ法定軽減制度あり	利用料支払対象者 6名 新規利用者に対象者が2名おり昨年度より利用料支払対象者が増えた
6. 職員会議	管理者会議	毎月第1火曜開催 他緊急時開催
	職員会	毎月第2水曜開催 12月の職員会に自家用自動車協会の方を講師に迎え交通安全講習を行った
	支援会議	計画相談が始まってから、支援会議の回数が増え、他関係機関と連携が必要な方が増えている
	部門別会議、カンファレンス	週1回介護職員カンファレンス 2週に1回授産カンファレンス 週1回正規職員ミーティング開催

7. 職員研修	外部研修	工賃向上セミナー、相談支援初任者研修、就業支援基礎研修、社会福祉法人制度改革対応セミナー、全国権利擁護支援実践研修、食品衛生責任者講習会、相談支援現任研修、障害者虐待防止・権利擁護研修、苦情対応システム研修会、強度行動障害支援者研修、就労支援ネット講演会、サービス管理責任者研修
8. 健康診断 災害訓練	職員の健康診断の実施	11月より順次行い終了
	感染症予防の対策	職員のインフルエンザ予防接種費用全額負担 利用者へは500円助成。
		玄関での手指消毒、感染症セットの整備 検温確認の継続
避難訓練の実施	4月に総合避難訓練、12月に地震想定避難訓練	
9. 行事・ クラブ活動	行事	4月…新年度式、お花見、サッカー観戦 5月…輝き講座「マジックショー」 6月…バラ公園外出 7月…輝き講座「越寿三郎物語」、アイスの日 8月…相中交流会 9月…開所記念日、わらしべまつり 10月…運動会 11月…食事会 12月…クリスマス会 1月…成人を祝う会 2月…福まき 3月…輝き講座「ヴァイオリンのしらべ」
	(支援する会関係)	4月…支援する会総会 6月…販売用屋台の寄贈 9月…わらしべまつりに協力いただく
10. 機関紙等	わらしべたよりの発行	いんさつやさんで月1回発行
11. 備品購入 等	備品購入等	いんさつやさん パソコン1台 送迎用リフトバス リース契約 携帯電話の買い替え AED設置
	点検、整備等	授産棟と介護棟の間のスロープが雨漏りし修理 わらしべ号 車検 リフト浴槽、特殊浴槽の点検、ギアモーター交換 浴室シャワーの交換、浴室配管洗浄 とうふ製造室の害虫駆除消毒 介護棟職員用トイレの修理
12. その他 法人関係	理事会・評議員会	会計監査、理事・評議員会 法人定款の変更 選任解任委員会
	ボランティア受け入れ	月1回 星の会3～4名(職員会時) 週1回程度 個人ボラ3名(自主製品) 週1回程度 個人ボラ2名(豆腐配達) 相森中学校安全委員会 掃除、交流(8月) わらしべまつりに個人ボラ(9月) 寿楽園より定期的にノバ手伝い
	実習生受け入れ	稲荷山養護より1名 長野盲学校より1名 東中学校より職場体験 1名

	家族会	わらしべまつりに協力していただいた
	自立支援協議会への出席	就労支援部会、地域活動支援部会、日中活動支援部会への参加、計画相談サービス調整会 権利擁護ワーキングチームへの出席
	送迎体制の充実	4月より中野市、豊野町方面への送迎を開始 10月より長野市の利用者が増え、待ち合せ場所の相談、送迎ルートの変更を行った
	インターネットバンキングを開始	職員給与の振り込みを5月よりインターネットバンキングで行っている
	助成金の決定	清水基金に豆腐製造設備の助成金申請を行い、助成決定をいただく 設備の設置は平成29年度
生産活動関係	自主製品、販売先の開拓	とうふ1丁200円セールを行う 自主製品の販売先、イベントへの出店を増やした
	施設外作業	図書館書庫整理を継続 豊洲公民館のカシス収穫作業
日中活動関係	介護保険サービスとの併用について	介護保険サービスが利用できる方は、介護保険サービスでの入浴をお願いし、1名が移行した 介護保険サービスとわらしべの利用を併用されている方が増え、ケアマネージャーとの連携が重要になっている
	就労について	わらしべから就労した方が2名就労が困難となり再利用となった 今後も就労先を探したい希望があり、就職説明会に出席しハローワークに同行する等就労に向けて情報を集めている